

第2回中丹管内二級河川流域治水協議会を開催しました

流域治水の推進に向け、二級水系における流域治水の取組及び今後の進め方について情報共有を行い、今後、流域治水プロジェクトをとりまとめていくこととなりました。

○開催概要

日時	令和3年6月3日（木） 13:15～14:15
開催形式	Web開催（Zoom）
議事	（1）流域治水の推進について（経過説明） （2）流域治水に係るこれまでの動き （3）二級水系流域治水プロジェクトの推進

○出席者と主な意見

（舞鶴市 堤副市長(代理出席)）

近年の激甚化する災害に対し、避難の喚起やハザードマップ、タイムライン作成に取り組むたい。また、水位監視システムや内閣府SIPと連動したシステムの構築、事業間連携下水道事業などを流域治水プロジェクトに盛り込み推進したい。

（綾部市 山崎副市長(代理出席)）

伊佐津川の流域にある地区では、平成30年7月豪雨による土砂災害で3名の命が奪われたこともあり、地域住民の災害への関心は高く、流域治水を連携して取り組むたい。また、雨水貯留の取組など、治水対策への支援をお願いしたい。

（京府中丹広域振興局地域連携・振興部 和久部長）

管内3箇所をモデルとした水害等避難行動タイムライン作成や、中丹自然災害情報連絡ネットワークなどの取組を広げたい。最近、災害への気の緩みが危惧され、防災意識を高める取組を行う必要がある。

（京府中丹広域振興局農林商工部 岡田部長）

ため池や用水路・排水路、山林の整備、治山事業などは流域治水に寄与するものとする。地域の取組と流域の治水のつながりを意識し連携して進めることが大切。

（京府中丹広域振興局建設部 西村部長）

管内河川の改修や浚渫等により流下能力の確保に取り組むほか、策定した洪水浸水想定区域図が、市町のハザードマップに活用されている。今後も関係機関と連携し、治水安全度の向上に繋げたい。

（京府港湾局 三島局長）

舞鶴港は高野川や伊佐津川などの最下流部に位置し、流域治水の取組では河口部における浚渫等が考えられる。河川管理者や市町と連携・協力し何ができるか協議会の中で検討していきたい。

（京府建設交通部 富山部長）

本協議会における施策の紹介を新たな取組のヒントとすれば流域全体としてプラスになるので、対応可能な取組を、各立場の発想からプロジェクトに盛り込んでいきたい。各機関連携し流域治水プロジェクトを推進していきたい。

（京府水産事務所 井谷所長）

豪雨に伴う流木等による港の閉塞被害があることから、漁港の整備や伊佐津川河口の浚渫を行う立場として、災害に対して何ができるか本協議会で一緒に考えたい。



協議会の様子

